

野党の結束こそ重要

岐阜

サロン9条例会 参院選結果を討論

「参院選の結果をどう受け止めるのか」。岐阜市で23日、岐阜・九条の会による「サロン9条例会」が開かれ、参院選をたたかった市民22人が意見交換しました。

候補でたたかった梅村慎一氏などの会員の模様を視聴しました。吉田千秋代表（元岐阜大学教授）が各紙の「改憲勢力3分の2割れ」「自民勝ったけど、比例大幅減」などの見出しを紹介しました。

「自公で過半数を獲得し、大勝しているように見えるが、両党とも前回比で大幅に得票を減らし、自民は比例で全有権者の約17%の得票率しかないのに、議席では4割近くを占めている」と指摘。「安

倍首相は改憲で議論すべきとの審判は下った」といっているが、予算委員会も開かず、真剣に議論することを避けてきたのが自民党だ。国政の基本問題こそ議論すべきだ」と批判しました。

3分の2を阻止した民意は大きい」（80代・男性）などの意見が出されました。吉田代表は「憲法審査会の議論の場に乗せ、多数で押し切るのが改憲派の狙い。『発議させない』という野党・会派の政策合意に基づき、結束した力で安倍首相の野望を打ち砕きたたかいこそ重要だ」と述べました。